

新規就農者300人

山形県 各段階の支援が奏功

【山形】山形県は13日、2015年6月から1年間の新規就農者数が1985年度の調査開始以降、最多となる300人の大台を達成したと発表した。農業法人などへの雇用就農者が152人と半数を超えた。10年度から7年連続200人超えが続いている。

内訳は男性209人、女性91人。前年比20人増加した。特に女性が17人

増え、新規参入就農者が33人増えて131人と最多を記録した。Uターン就農者は3人増え112人、新規学卒就農者は13人増の57人だった。

0人を目標としていた

宮農部門別では野菜が113人と最も多く、果樹66人、水稲60人、畜産34人、花き12人など。14〜16年度を目標とする新農林水産業元気再生戦略は17年度調査で300人を目標としていた

が、1年早く達成した。県は、やまがた農業支

援センターや県立農林大
学校、JAグループ山形
地域・担い手サポートセ
ンターなどと連携し、国
の支援と合わせ、動機付
けから準備、就農定着段
階までの各段階に合わせた
支援が成果を上げている

とみる。
特に農林中央金庫など
によるJAバンク新規就
農応援事業が拡充し、就
農研修受け入れ先などへ
の15年度の助成額が30
64万円と東北一となっ
た。